

宮下地区 地域づくりニュース

Vol.1

宮下活性化センターにおいて、第1回ポケットパーク部会が開催されました。

12月7日、宮下活性化センターにおいて「ポケットパーク部会」が開催され、昨年度にまとめられたポケットパーク整備方針と、本年7月1日の地域懇談会に提示された資料をもとに、「地域の人と人がふれあえる公園、イベントに使える公園、維持管理をするのに負担にならない公園、墓地の地権者の方々に配慮した整備」を念頭に整理した計画案が示され、各項目ごとに、どういう考えで整備するかについて話し合われました。



今までの取組みの流れ

平成21年1月7日 墓地地権者、部会、隣接商店等の方々と墓地開発について協議を行いました。



平成21年2月16日 部会を開催し、これまでの意見について集約し、施設整備の検討を行いました。



平成21年2月20日 地域懇談会を開催し、墓地活用の方向性を話し合いました。



平成21年3月31日 地域懇談会を開催し、ポケットパークの活用について協議を行いました。



平成21年7月1日 地域懇談会を開催し、ポケットパークの原案図を示し、敷地内の施設の協議に入り、併せて公園の利活用について協議していくことを確認しました。

公園計画のコンセプト

「人々が **ふれあい 交流** する憩いの広場を創出し、**イベント** も開催できる公園」

キーワード
【花】



公園計画予定地

話し合いで、このような意見が出されました。

【敷地】

- 県で整備する部分は縦18.1m×横17.2mとし、役場で整備する部分と併用する。
(豊年踊り時 外円 12m 内円 8m で42人程が踊ることが出来る。)
(イベント開催時 4.5m×3.0mのテントを最大8張設置可能。)

【合祀施設】

- 合祀の広場は誰でもお参りできるように整地してもらいたい。
- 高齢の人もいるので、フラットにするか、段差が出来るとすれば、手押し車でもお参りできるスロープを設けてほしい。
- 維持管理が容易なようにしてほしい。
- 施設をどのようにするかは地権者会と協議しながら進めていく。

【舗装】

- 雪の量が多いので、除雪は重機でないと対応できない。
- カラー平板は沈下したりして、水が溜まる。強度等を考えるとアスファルト舗装しかないと思う。
- ゴムチップ平板は、凍結すると表面が剥がれることがある。
- 駐車場部を黒にし、イベント広場をカラーにし、合祀広場に行く部分も色分けする。

【公園内施設】

- イベントは年に数回なので、日常、地域の人に如何に使ってもらえるか、使い易い公園にするかが大事だ。
- 東屋は、冬期を含め、ある程度の維持管理をしないと長持ちしないことを考慮しなければならない。
- メンテナンスの問題も出てくるので、それを考慮して設けるかを決めなければならない。広場を見たときに、東屋があれば見た目はよくなる。
- 東屋は公園に来た人が休んで話が出来るという意味で、必要なのではないか。
- 墓参りに来た人が休むのに日陰があったほうがよい。
- 東屋の場所は合祀広場の近くがよい。
- 樹木は維持管理に手がかかるのではないか。
- オオヤマザクラはあまり横に広がらず、上に伸びる木なので大きくなっても比較的管理は楽かもしれない。
- まったく木がないのも寂しい。
- 樹木はオオヤマザクラでよいと思う。
- 合祀広場への動線は町道(火の見櫓脇)からと、駐車スペース脇からの二通りになる。
- 町道側のポラードは、あまりごつくなく、冬は取り外せるものにしたい。
- 情報発信のため、案内板は必要。
- ガラス戸式でなく、ポスター等が貼り付けられる方式のものがよい。
- ベンチは移動できる据え置き式のものがよい。

上記の意見をもとに実施設計図を作成し、次回の部会で更に検討を加えていきます。

ご意見・お問い合わせは



福島県 会津若松建設事務所

TEL : 0242 - 29 - 5455

企画調査課 (担当 : 瀧本)

FAX : 0242 - 29 - 5459